

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅰ（こども） Career SeminarⅠ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（ ）	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
久保田隆範・秋山真奈美・大塚登		授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
本授業では、就職し社会人となってから役立つ基礎的知識や態度を身につけ、実際に自己を生かす職業に就き、そこで活躍する際に必要になる知識・技術や望ましい態度等を学ぶ。また演習を通じ、自己のキャリア形成イメージをさらに深化させるとともに、主体性やコミュニケーション能力、チームワーク力、プレゼンテーション能力を涵養する。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥集団でひとつの目標に向かって共同作業する際の技能を身につける。				
授業の方法				
講話聴講の他、クラスを越えたグループを結成し、主体性開発メソッドをアクティヴ・ラーニングする。そのワークでは、仲間と積極的に関わり、個人だけでなく集団の力量を高める方法を体得することをねらう。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)問題解決のために、個人および集団の技能を活用することができる。 (5)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 履修指導 活動グループ編成 （全体45分：クラス指導45分） 4/12			
第2回目	主体性開発メソッド：プログラムの概要 相互理解 関係性の構築 自己開示 積極的な質問 フィードバック 〔ワーク〕 ギャップの王様 基礎力チェック 【レポート5点配点】（Fc秋山：全体90分） 4/19			
第3回目	主体性開発メソッド：軽く議論をしてみよう 〔ワーク〕 こわい先生 無人島 【レポート5点配点】（Fc大塚：全体90分） 4/26			
第4回目	主体性開発メソッド：自分の意見を伝える 〔ワーク〕 ミニワークLINE 人生相談 標語づくり 【レポート5点配点】（Fc久保田：全体90分） 5/10			
第5回目	履歴書の書き方（Fc秋山：全体60分：クラス指導30分） 【レポート課題：10点配点】 5/17			
第6回目	現場で活躍する先輩の話を聴く①（全体90分） 【レポート課題：10点配点】 5/24			

第7回目	学校行事を基盤とした地域交流活動について（クラス別90分） 5/31	
第8回目	教育実習オリエンテーション（全体90分） 6/7	
第9回目	主体性開発メソッド：情報の集め方 〔ワーク〕 ※テーマは当日発表（Fc大塚：全体90分） ※実習により後日補講	
第10回目	主体性開発メソッド：集めた情報を発表する 【発表10点配点】（全体90分） ※実習により後日補講	
第11回目	保育実習ⅡⅢオリエンテーション（全体90分） ※実習により後日補講	
第12回目	主体性開発メソッド：本格的に議論してみよう 〔ワーク〕 文化祭動物園（全体90分） 7/5	
第13回目	主体性開発メソッド：文化祭動物園のプレゼンテーション 【発表10点配点】（全体90分） 7/12	
第14回目	主体性開発メソッド：情報分析&保育園研究 〔ワーク〕 社会人の先輩へのインタビュー項目づくり 【レポート5点配点】（Fc久保田：全体90分） 7/19	
第15回目	現場で活躍する先輩の話を聴く②（全体90分） ※第14回で作成したインタビュー項目を活用する 【レポート課題：10点配点】 7/27	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、講話担当者や担任に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	ディスカッションやワーク時の積極的な協議姿勢、講話や他グループの発表時における質問などは高く評価する。授業に無関係の行動、居眠り、不参加は減点の対象とする。
レポート	50%	上記配点により、各回の主題に応じたレポートを課す。主題に即した内容が、適切な記述法に則って、多角的に示されているのが望ましい。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	20%	第10・13回の発表内容・態度をそれぞれ10点配点で採点する。独創的且つバランスのよい内容、視聴者を意識したプレゼンテーション、双方向の遣り取りが好ましい。
その他		
教科書と参考図書		
『タクナル：学びたくなる、見つけたくなる、解決したくなる、タクナル式・主体性開発メソッド』（リアセック）。 『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、1年次購入済）。 参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え課題を必ず提出すること。課題の提出〆切は原則として1週間後とするが、イレギュラーの場合はクラス指導の場で示す。欠席してしまった場合は、速やかに担任に報告し、必要な課題を受け取ること。		

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅰ（栄養士） Career seminarⅠ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（特になし）	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
穂積 元 藤田 睦 駒場 啓子 野中 春奈		授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥栄養士の資格を目指す学生として幅広い基本知識を習得することができるようにする。 ⑦栄養士の資格を目指す学生として、コミュニケーション能力を養い状況判断ができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)給食施設見学によって現場での栄養士の仕事を具体的に考えることができる。 (5)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	講義ガイダンス（2年生としての心構えと栄養士の仕事）			
第2回目	各分野における栄養士の仕事の実際①（病院、学校）			
第3回目	各分野における栄養士の仕事の実際①（福祉施設・幼稚園・保育園）			
第4回目	各分野における栄養士の仕事の実際①（行政、企業（商品開発を含む））			
第5回目	卒業研究の進め方、コース別希望調査			
第6回目	コース別担当者との面談①			

第7回目	コース別担当者との面談②	
第8回目	先輩栄養士の講話①（学校） 課題① 提出日第9回目の授業	
第9回目	先輩栄養士の講話②（病院） 課題② 提出日第10回目の授業	
第10回目	先輩栄養士の講話③（保育園） 課題③ 提出日第11回目の授業	
第11回目	先輩栄養士の講話④（高齢者施設） 課題④ 提出日第12回目の授業	
第12回目	平成29年度卒業研究発表について（映像） 課題⑤ 提出日13回目の授業	
第13回目	研究内容についての調査、グループディスカッション	
第14回目	研究内容案の発表 課題⑥ 提出日第15回目の授業	
第15回目	発表予備日およびまとめ	
事前・事後学習	卒業研究に向けて図書館やITを活用し調べ学習を行う。発表資料を収集する。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	60%	10点満点の課題を6つ提出すること。満点＝各設問に適切に答えているか、自由記述は8割以上記入されているか。提出期限が守られているか。締め切りを過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	10%	グループディスカッションでの内容をまとめて発表する。（決められた時間内に協力して内容をまとめている、わかりやすく明確に説明できている場合は10点とする。）
その他		
教科書と参考図書		
参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し反省し修正すること。		

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅰ（介護福祉士） Career SeminarⅠ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（介護福祉士養成課程 必修）	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
久保 由佳、他		福祉棟2F	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション / 履修指導			
第2回目	就職活動に係わる書類の準備・履歴書の書き方【社会福祉士フィールドと合同】			
第3回目	履歴書の書き方 *課題①② 履歴書・自己紹介書【社会福祉士フィールドと合同】			
第4回目	高齢者や障害者が使いやすい用具について考える学習（発表会）			
第5回目	小論文指導（60分模擬試験） *課題③ 小論文【社会福祉士フィールドと合同】			
第6回目	キャリア講演会（施設長・人事担当者） *課題④ 感想レポート【社会福祉士フィールドと合同】			

第7回目	面接の受け方・模擬質問	*課題⑤ 模擬質問	【社会福祉士フィールドと合同】
第8回目	小論文指導（模擬試験の添削含む）		【社会福祉士フィールドと合同】
第9回目	集団模擬面談	*課題⑥ 面接の振り返り	【社会福祉士フィールドと合同】
第10回目	個人模擬面談	*課題⑦ 面接の振り返り	【社会福祉士フィールドと合同】
第11回目	求人票収集と就職希望先の分析・研究		【社会福祉士フィールドと合同】
第12回目	進路個別面接		
第13回目	進路個別面接		
第14回目	進路個別面接		
第15回目	まとめ / 夏休みの過ごし方や国家試験に関する説明		
事前・事後学習	授業でわからなかった点は、各自調べたり、教員に質問したりすること。 普段から挨拶や言葉づかい、態度、書類の書き方等に気をつけること。		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③演習時は仲間の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。④積極的に取り組んでいる。
レポート		70%	10点満点のレポート課題を7つ提出する。S評価は、①各設問に適切に答えている。②自由記述は8割以上記入されている。③学びや気づきなど、自分の考えが具体的に記述されている。④提出期限を守っている。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
平成29年度 佐野日本大学短期大学 進路支援資料集 『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入） その他、必要に応じて適宜資料を配布する。			
履修上の留意点・ルール			
進路の実現に向けて、学生支援課を活用しながら、積極的に行動すること。 受講するマナー・態度として、飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。			

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習 I（医療事務・メンタルヘルス） Career Seminar I		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（医師事務作業補助技能認定試験対策講座）	医療事務技能認定試験合格者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
医療事務関係科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
電子カルテ、ICDコーディング I・II				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
古川 貴子		講義棟 2階	火・水・木・金の9時から16時（授業時間を除く）	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥医師事務作業補助者としての専門職の必要性和役割の理解ができるようにする。 ⑦技能職として医師事務作業補助者の資格試験に合格できるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)専門職の知識と必要性を理解することで将来設計を明確化することができる。 (5)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 医療機関の組織と理解			
第2回目	専門職の役割と必要性の理解			
第3回目	医療事務と医師事務作業補助者の仕事と役割の違い （課題1:医療事務と医師事務作業補助者の違いについて）			
第4回目	医療スタッフとの関わりとコミュニケーションの取り方①（グループワーク）			
第5回目	医療スタッフとの関わりとコミュニケーションの取り方②（グループワーク） （課題2：医療機関でのコミュニケーションの必要性について）			
第6回目	カルテからの読みとる症例 ①			

第7回目	カルテからの読みとる症例 ②
第8回目	カルテからの読みとる症例 ③ (課題3：診療情報提供作成)
第9回目	カルテからの読みとる症例 ④
第10回目	カルテからの読みとる症例 ⑤ (課題4：入院証明書作成)
第11回目	医師事務作業補助技能認定試験対策 I
第12回目	医師事務作業補助技能認定試験対策 II (課題5：傷病手当金作成)
第13回目	医師事務作業補助技能認定試験対策 III
第14回目	医師事務作業補助技能認定試験対策 IV (課題6：出生証明書作成)
第15回目	医師事務作業補助技能認定試験対策 ・まとめ (課題7：主治医意見書作成)
事前・事後学習	医師事務作業補助者の仕事内容の事前理解を学習しておくこと。

成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	課題1～7は10点満点。満点＝各設問に適切に答えている、自由記述は8割以上記入されている。締め切りを過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書	
医師事務作業補助テキスト 1 ～ 5 及び問題集	
履修上の留意点・ルール	
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し医師事務作業補助技能認定試験の合格を目指すこと。	

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅰ（Writing III①） Career Practice I(Writing III①)		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	講義	選択	(特になし)	WritingⅠ・Ⅱ・Ⅲを修了した学生。または個別にレベル判定試験を受験した学生。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
Vanessa Lopez	English Salon	From 9:00 to 18:00 on Monday to Friday		授業中に指示します
授業の概要				
Students will review and build upon the knowledge from the Writing Level II class and learn more complicated writing techniques.				
授業の目標				
This course teaches students how to format, organize, and write coherent essays, reports, and narratives using a variety of sentence structures such as colorful adjectives and adverbs, phrasal verbs, appositives, and correct punctuation.				
授業の方法				
Students will learn through a series of reading and writing activities in class, as well as assigned journal topics to write about at home each week.				
学習の成果（学習成果）				
Students will be able to write and identify simple, compound, and complex sentences, appositives, will be able to use time order, space order, and logical order paragraphs, and will be able to identify writing errors such as comma splices, fragments, and run on sentences.				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス, Longman Academic Writing Series 3 Chapter 1A (P.3-12)①			
第2回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 1C (P.21-30)③			
第3回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 2B (P.38-44)⑤			
第4回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 3A (P.52-61)⑦			
第5回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 3C (P.70-78)⑨			
第6回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 4B (P.87-94)⑪			

第7回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 5A (P.103-109)⑬
第8回目	Midterm Exam ⑮
第9回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 6A (P.122-130)⑰
第10回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 6C (P.139-147)⑲
第11回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 7B (P.157-164)㉑
第12回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 8A (P.172-180)㉓
第13回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 8C (P.190-196)㉕
第14回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 9B (P.207-214)㉗
第15回目	Longman Academic Writing Series 3 Chapter 10A (P.223-231)㉙
事前・事後学習	Do tasks instructed in the previous lesson and review for your next class.
成績評価の方法と基準	
評価の領域	割合 評価の基準
授業参加態度	20% Participation is based on preparation, use of English, classroom behavior, and attendance.
レポート	10% Students will type, edit, and submit a 3 page, original short story or research paper.
調査報告書	
小テスト	
試験	55% A midterm exam worth 25% and a final exam worth 30% will be administered.
発表内容（態度含む）	
その他	15% Homework journals: Students are expected to submit their homework journals on time each week.
教科書と参考図書	
・ Longman Academic Writing Series 3 ・ English Dictionary (Recommended: An electronic dictionary or the Active Study Dictionary, 5th Ed)	
履修上の留意点・ルール	
・ Phones are to be switched off, or in manner mode, and put away during class time. No phone use during class. ・ The teacher may change the syllabus at any time, for any reason.	

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅰ（観光ホスピタリティ） Career SeminarⅠ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（特になし）	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
斎藤清	本館2階	火曜日・水曜日・木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要となる知識・技術・望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観・役割・責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けて欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション。 進路個別面談、進路活動報告と新聞記事の活用は毎回のレポート課題として行う、キャリアデザイン(履修計画)の再考。			
第2回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、自己PRの作成:学生時代に力を入れたことについて(個別ワーク・発表)。			
第3回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、会社選びの基準について自分の価値観を確認する(個別・グループワーク)。			
第4回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の就活スキルの弱点と解決①(個別・グループワーク)。			
第5回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の就活スキルの弱点と解決②(個別・グループワーク)。			
第6回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、内定辞退の対処法(再確認)と内定礼状の作成(個別・グループワーク)。			

第7回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の就活スキルの弱点と解決③(個別・グループワーク)。	
第8回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、進路活動の振り返りとキャリア・カウンセリング利用の検討(個別・グループワーク)。	
第9回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の就活スキルの弱点と解決④(個別・グループワーク)。	
第10回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の就活スキルの弱点と解決⑤(個別・グループワーク)。	
第11回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の就活スキルの弱点と解決⑥(個別・グループワーク)。	
第12回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の就活スキルの弱点と解決⑦(個別・グループワーク)。	
第13回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、進路活動を振り返り夏休みの過ごし方について考える(個別ワーク)。	
第14回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、夏休みの計画を立てる(個別ワーク)。	
第15回目	進路個別面談、進路活動報告のまとめ、新聞記事の活用のまとめ。発表。	
事前・事後学習	事前：進路活動状況につき、授業内で課題を共有出来るよう準備すること。 事後：授業内で共有された進路活動状況を、自らの進路活動に活かせるよう努力すること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	進路活動報告、新聞記事の活用 各5点をそれぞれ7つ以上提出すること。満点＝各設問に適切に答えているか、自由記述は8割以上記入されているか。締め切りを過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題は提出〆切を守り必ず提出すること。課題提出の締め切りはクラス指導の場で示す。欠席の場合は欠席届を提出すること。		

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅰ（社会福祉士） Career SeminarⅠ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（社会福祉士フィールド 必修）	社会福祉士フィールド2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
大熊 信成、他	福祉棟3 F	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション / 履修指導			
第2回目	就職活動に係わる書類の準備・履歴書の書き方			【介護福祉士フィールドと合同】
第3回目	履歴書の書き方			*課題①② 履歴書・自己紹介書【介護福祉士フィールドと合同】
第4回目	電話のかけ方			
第5回目	小論文指導（60分模擬試験）		*課題③ 小論文	【介護福祉士フィールドと合同】
第6回目	キャリア講演会（施設長・人事担当者）		*課題④ 感想レポート	【介護福祉士フィールドと合同】

第7回目	面接の受け方・模擬質問	*課題⑤ 模擬質問	【介護福祉士フィールドと合同】
第8回目	小論文指導（模擬試験の添削含む）		【介護福祉士フィールドと合同】
第9回目	集団模擬面談	*課題⑥ 面接の振り返り	【介護福祉士フィールドと合同】
第10回目	個人模擬面談	*課題⑦ 面接の振り返り	【介護福祉士フィールドと合同】
第11回目	求人票収集と就職希望先の分析・研究		【介護福祉士フィールドと合同】
第12回目	進路個別面接 / オレンジリボン運動準備		
第13回目	進路個別面接 / オレンジリボン運動準備		
第14回目	進路個別面接 / オレンジリボン運動準備		
第15回目	まとめ / 夏休みの過ごし方や国家試験に関する説明		
事前・事後学習	授業でわからなかった点は、各自調べたり、教員に質問したりすること。 普段から挨拶や言葉づかい、態度、書類の書き方等に気をつけること。		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③演習時は仲間の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。④積極的に取り組んでいる。
レポート		70%	10点満点のレポート課題を7つ提出する。S評価は、①各設問に適切に答えている。②自由記述は8割以上記入されている。③学びや気づきなど、自分の考えが具体的に記述されている。④提出期限を守っている。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
平成29年度 佐野日本大学短期大学 進路支援資料集 『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入） その他、必要に応じて適宜資料を配布する。			
履修上の留意点・ルール			
進路の実現に向けて、学生支援課を活用しながら、積極的に行動すること。 受講するマナー・態度として、飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。			

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅰ（ビジネスデザインフィールド卒業研究） Career SeminarⅠ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（ ）	基本的にはビジネスデザインフィールドの学生用である。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
小林大輔		講義棟1F	火曜～金曜 9:00～18:00（授業及び会議の時間を除く）	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥短大で得たスキル・学習成果を整理し、プレゼンテーションができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)ビジネスマナーとビジネス文書作成スキルを修得し、就職活動を自主的かつ円滑に行うことができる。 以上により、就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 履歴書指導			
第2回目	個人面談1 業界研究			
第3回目	個人面談2 業界研究			
第4回目	個人面談3 業界研究			
第5回目	SPI練習問題 非言語能力問題1			
第6回目	SPI練習問題 非言語能力問題2			

第7回目	SPI練習問題 非言語能力問題 3		
第8回目	SPI練習問題 非言語能力問題 4		
第9回目	SPI練習問題 言語能力問題 1		
第10回目	SPI練習問題 言語能力問題 2		
第11回目	SPI練習問題 言語能力問題 3		
第12回目	SPI練習問題 言語能力問題 4		
第13回目	卒業研究 1 短大での学びを振り返る グループワーク		
第14回目	卒業研究 2 プレゼンテーション作成 1 グループワーク		
第15回目	卒業研究 3 プレゼンテーション作成 2 グループワーク		
事前・事後学習	I Tや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者に質問に行くこと。		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート		70%	短大で得たスキル・学習成果を整理し、プレゼンテーションを作成する。満点＝2年生前期までの学習成果について要点をまとめられているか。提出期限が守られているか。締め切りを過ぎたら減点する。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。			
履修上の留意点・ルール			
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題を必ず提出すること。			

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅰ（健康スポーツ） Career SeminarⅠ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（ ）	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
加藤秀治	本館2F	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス：シラバスと評価の仕方について 春休みの課題【課題1， 2】提出及び履修指導			
第2回目	業界研究①			
第3回目	業界研究② 進路個人面談① 【課題3】「業界研究を行った企業について」の提出			
第4回目	健康スポーツ振興及び他フィールドでの資格についての説明と確認			
第5回目	履歴書の書き方と下書き① 進路個別面談②			
第6回目	電話でのコミュニケーションについて			

第7回目	履歴書の書き方と下書き②		
第8回目	履歴書の添削・指導①		
第9回目	履歴書の添削・指導② 一般常識問題の実施（国・数）		
第10回目	職場での言葉遣い（敬語・謙譲語） 一般常識問題の実施（英） 【課題4】「一般常識問題（国・数）」の提出		
第11回目	履歴書の添削・指導③ 一般常識問題の実施（理科・社会） 【課題5】「一般常識問題（英）」の提出		
第12回目	履歴書の添削・指導④ 一般常識問題の実施（文化） 【課題6】「一般常識問題（理科・社会）」の提出		
第13回目	進路個別面談③ 【課題7】「一般常識問題（文化）」の提出		
第14回目	進路個別面談④		
第15回目	夏休みの過ごし方について フィールド内での就職活動状況報告と質疑応答		
事前・事後学習	事前学習については前の週で予告されたテーマを調べておくこと。事後学習については学習した内容を配布資料等を用いて振り返りを行うこと。		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート		70%	10点満点の7つ提出すること。満点＝各設問に適切に答えているか、自由記述は8割以上記入されているか。提出期限が守られているか。締め切りを過ぎたら減点する。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。			
履修上の留意点・ルール			
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題は提出〆切を守り必ず提出すること。課題提出の締め切りはクラス指導の場で示す。欠席の場合は欠席届を提出すること。			

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅰ（留学生） Career SeminarⅠ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（ ）	留学生用科目
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
松崎勇人	講義棟2階	火曜を除く昼休みや講義の空き時間		授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけて、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。さらに、留学生の進路特有の内容を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティブラーニングをも実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の自己実現を支援する。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 以上により進路を実現できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス			
第2回目	就職と編入試験に向けて			
第3回目	個人面談1、進路希望の再確認			
第4回目	個人面談2、進路実現に必要なこと			
第5回目	個人面談3、業界研究			
第6回目	履歴書の書き方指導			

第7回目	試験問題研究と練習	
第8回目	面接研究	
第9回目	SPI練習問題演習と解説、言語能力問題 1	
第10回目	SPI練習問題演習と解説、言語能力問題 2	
第11回目	編入試験問題研究	
第12回目	面接演習 1、【課題 1】履歴書の下書き提出	
第13回目	面接演習 2、【課題 2】面接へ向けての課題提出	
第14回目	履歴書の添削・指導	
第15回目	夏休みの過ごし方について、収束活動等の報告と質疑応答、【課題 3】進路実現のためにしたことについてのレポート提出	
事前・事後学習	事前学習については前の週に予告されたテーマについて調べておくこと、事後楽手については学習した内容の振り返りを行うこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	20点満点の課題を 2 つ、30点満点の課題を1つ提出する。満点=各設問に適切に答えているか、自由記述は8割以上記入されているか。締め切りをを過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題は提出締め切りをを守りを必ず提出すること。欠席の場合は欠席届を提出すること。		